

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【大阪市】

1 実践テーマ	I, III, IV, V
2 実施対象者	大阪市立木川南小学校 5、6年児童(5年…30名、6年…26名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(体育科、特別活動、学校行事)
4 目標(ねらい)	◆オリンピック・パラリンピック教育の目標(めざす子ども像) ・学力や体力の向上に意欲的に取り組む子ども ・他者を思いやる心もち、共に助け合って生きようとする子ども ・我が国の郷土を愛し、他国を尊重し、平和を愛する子ども
5 取組内容	<p>《その1》</p> <p>○日時 平成29年11月28日(火) 14:40~15:25</p> <p>○対象 ・5年…30名 ・6年…26名</p> <p>○場所 6年教室</p> <p>○内容</p> <p>オリンピック、パラリンピックについて知ろう</p> <p>◇スポーツ庁より配布された映像資料を視聴し、オリンピック、パラリンピックの概略を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックやパラリンピックの歴史的経過 ・オリンピックやパラリンピックと日本との関わり <p>◇スポーツ庁よりの配布資料『I'm POSSIBLE』を使用して、パラリンピックを知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これは、何? 「競技用義足」「タッピング棒」 ・「パラ」の意味は? ・「スリーアギトス」の意味は? <p>○準備物……資料用DVD、 『I'm POSSIBLE』等</p>



《その2》

○日 時 平成29年12月6日(水) 13:30~14:50

○対 象 ・5年…30名 ・6年…26名

○場 所 講堂(体育館)

○内 容

車いすバスケットボールを体験しよう

・ゲストティーチャー(パラリンピックアスリート)

北間 優衣 さん

(2018 国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会

日本代表、日本生命所属)

※長居身しょう者スポーツセンターより2名の方が、競技用車いす約10台持参していただく。

- ・車いすバスケットボールの体験及びパラアスリート北間優衣さんの経験談を聞くことや交流することで、パラスポーツについて理解を深める。
- ・実際に児童全員が、競技用車いすに乗って体験する。

○準備物……事前に講堂モップかけ、ビブス、バスケットボール、カラーコーン、ぞうきん(雨天時、車いすタイヤふき用)



《その3》

○日 時 平成30年1月25日(木) 9:45~11:30

○対 象 ・6年…26名

○場 所 6年教室

○内 容

オーストラリのことを知ろう

- ・ゲストティーチャー (Osaka city native english teacher)
Gabriella Cailotto 先生

◇2/13 オーストラリア女子車いすバスケットボールチームとの交流に向けて、オーストラリアネイティブの先生よりオーストラリの文化(学校生活等)を学ぶ。

- ・画像等、資料を使って学習
- ・オーストラリアでのポピュラーなゲームで交流
- ・質疑応答

○準備物……風船、プラスチックボール、トランプ、紙コップ、



《その4》

○日 時 平成30年1月29日(月) 9:45~11:30

○対 象 ・5年…30名 ・6年…26名

○場 所 講堂(体育館)

○内 容

体操を体験しよう

- ・ゲストティーチャー(オリンピックアスリート)
沖口 誠 さん(北京オリンピック男子体操団体銀メダリスト
コナミスポーツクラブ所属)
- ・体操の体験及びオリンピックアスリート沖口 誠さんの
の経験談を聞くことや交流することで、オリンピックスポーツについて
理解を深める
- ・マット運動等を全員が体験する。
- ・銀メダルを実際に見せていただく。

○準備物……マイク マット 跳び箱 ロイター板 等



《その5》

○日 時 平成30年2月13日(火) 12:45~16:50

○対 象 ・6年…26名

○場 所 長居障がい者スポーツセンター

○内 容

オーストラリア代表女子車いすバスケットボールチームと交流しよう

○時 程 【12:45】 ・学校出発(地下鉄御堂筋線にて)

【13:45】 ・スポーツセンター到着

【14:00】 ・開会

副市長、総領事あいさつ

選手紹介、

【14:30】 ・車いすバスケットボールの体験

【14:45】 ・小、中、高校からの激励の演技等

【15:15】 ・児童生徒と選手の交流

メッセージ、サイン等の交歓

【15:30】 ・各校から質問等

【15:40】 ・交流終了

【15:50】 ・スポーツセンター出発

【16:50】 ・学校到着 解散

○児童持ち物……上靴、靴袋

○準備物……演技等の小道具持込み等の確認

○地下鉄団体予約



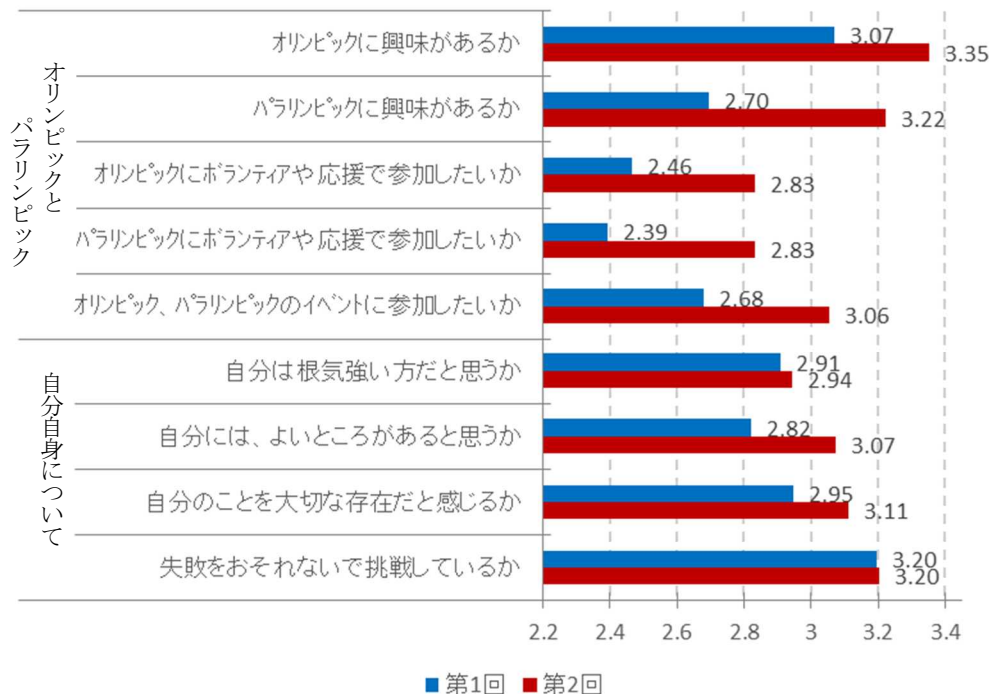
6
主
な
成
果

- ◆児童は一連の取り組みを通して、オリンピック、パラリンピックについて、興味・関心を少しずつ、もつことができるようになってきた。
- ◆オリンピックと交流し、高度な技を披露していただいたり、実際にメダルに触れるさせていただいたりすることにより、オリンピックを身近に感じることができた。
- ◆パラリンピアンと交流することによって、スポーツ、特にパラスポーツに対して知ることができた。
- ◆オーストラリア女子車いすバスケットボールチームの交流していく過程で、オーストラリアのことについて学ぶことができたり、諸外国に対しての関心を持つことができたりした。また、英語学習に対する意欲も深まった。
- ◆スポーツを通して、他者に対する思いやりの心を醸成することができた。
- ◆各学年で東京 2020 のマスコット投票を実施することにより、低学年児童から、東京 2020 に対する興味を持つことができた。

◆事前(第1回、9月) アンケート

事後(第2回、2月) アンケート結果 [5, 6 年児童対象]

本調査では、オリンピックとパラリンピックに関する5項目について、「1. 興味がない」「2. あまり興味がない」「3. 興味がある」「4. とても興味がある」の4段階でたずね、自分自身のことに関する4項目について、「1. 思わない」「2. あまり思わない」「3. 思う」「4. とても思う」の4段階でたずねた。最も否定的な回答を1、最も肯定的な回答を4として数値化し、全回答の平均値を算出した(否定的な回答と肯定的な回答が同数の場合、「2.5」となる。)



- ・パラリンピックに対する興味が大きく伸びている。
- ・オリンピック、パラリンピックともに、応援に参加したい、イベントに参加したいが伸びている。



★今回のオリンピック、パラリンピック教育の成果。

7実践において工夫した点（事業の特色）	・大阪市がオーストラリアのホームタウンであることと関連して、計画をたて、実践することができた。
8主な課題等	・ホームタウンとの関連付けをどのようにしていくか、検討の余地がある。
9来年度以降の実施予定	・来年度以降の計画を学校として、どう取り組んでいくかを論議し、計画を立てる。